

生冠中学校区小中一貫教育 ～ | 課題・視点, 組織 ～
 小中一貫教育目標「「ふるさとを愛し, 自ら学び, 心豊かにたくましく生きる生冠の子を育てる。」

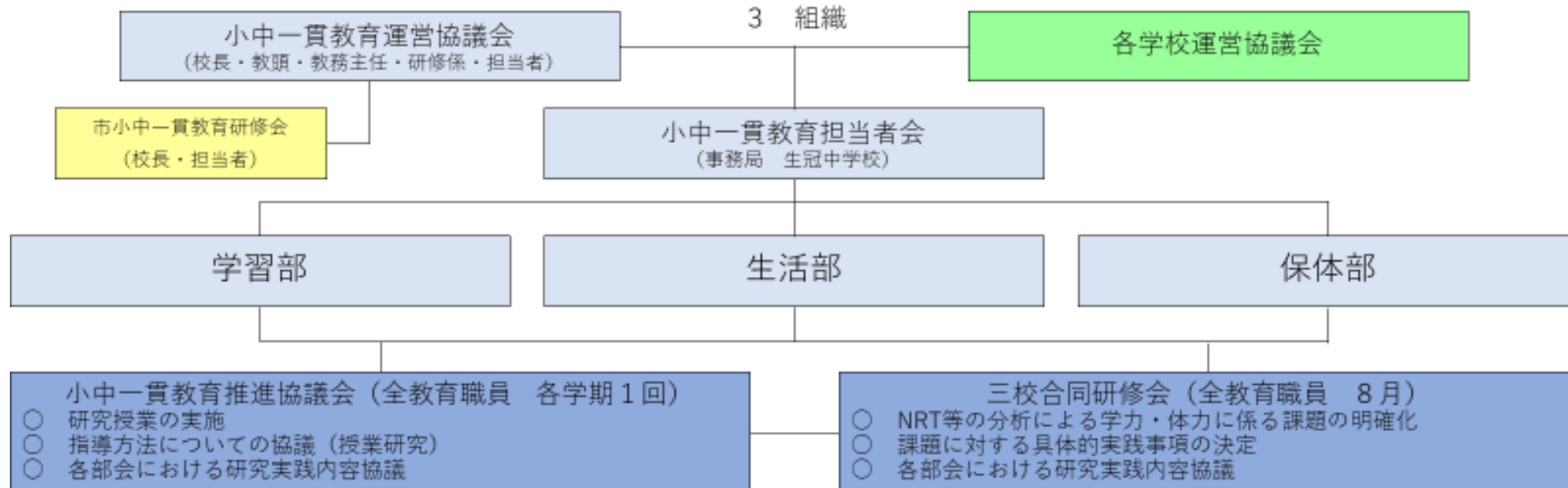
1 本校区の課題

- (1) 学力の向上 (2) 小中ギャップの解消

2 小中一貫教育の視点【学びと育ちの連続性, なめらかな接続】

- (1) 小学校と中学校の教師が, 授業参観や乗り入れ授業, 小中合同での学力分析等を通して研修を深め, 系統的な学習指導を行うことができるよう指導力の向上を図る。
 (2) 様々な場面における中学生の活動の様子を小学生が参観することで中学校生活へのイメージをもたせるとともに, 各学校・地域の行事や活動に児童生徒が積極的に参加し交流を深め, 異年齢のよりよい人間関係を構築させることで, 小中ギャップの解消を図る。
 (3) 生徒指導上の問題解決や未然防止に向けて, 小学校と中学校が連携した組織的な取組を行うとともに, 効果的な生徒指導・キャリア教育を行うことができるようにする。

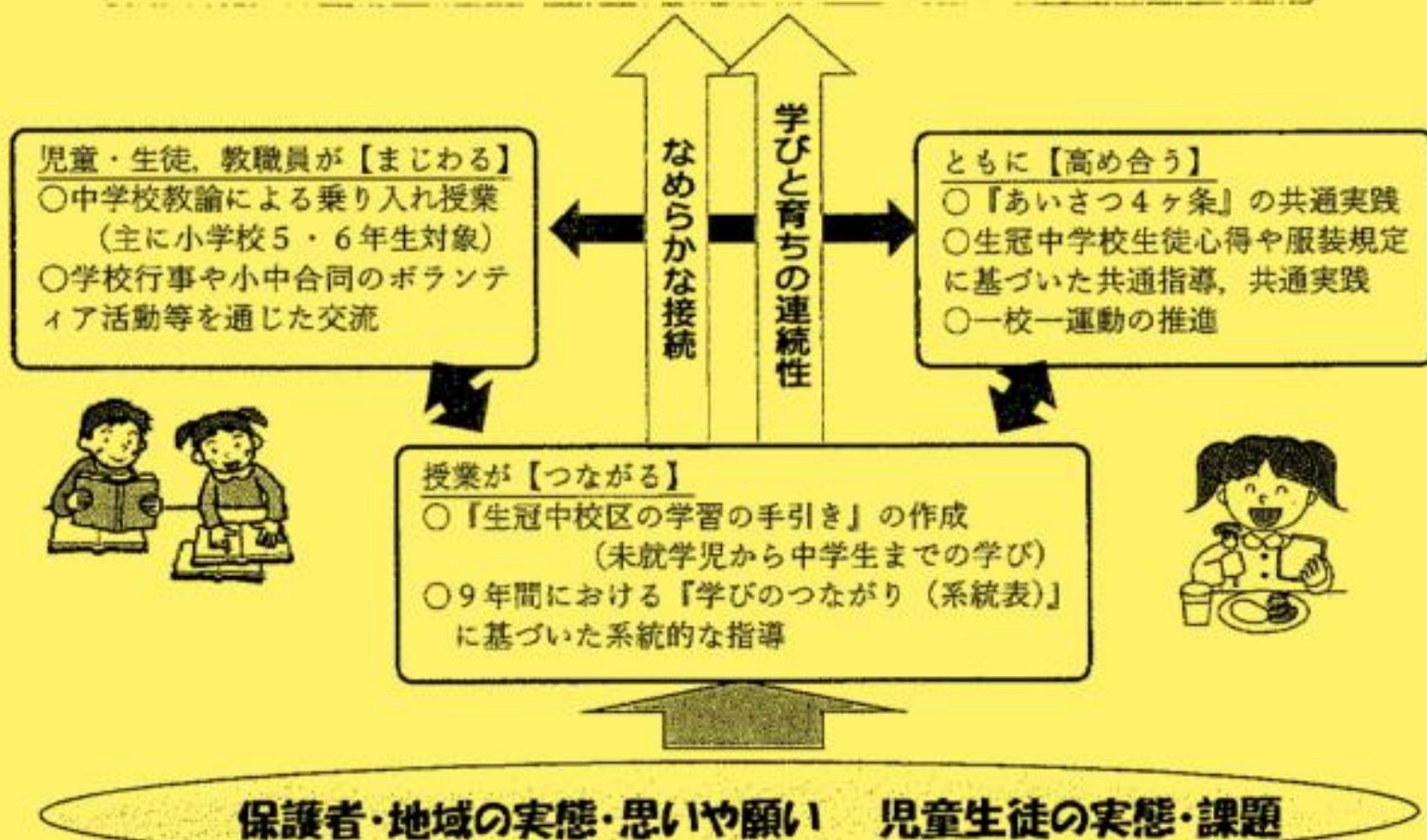
3 組織



生冠中学校区小中一貫教育 ～ II 基本構想図 ～

小中一貫教育目標「「ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生きる生冠の子を育てる。」

ふるさとを愛し、自ら学び心豊かにたくましく生きる生冠の子



子供を温室で育てる教育ではない。
コンストラクティブな教育（これまでの経験も生かしながら、失敗を乗り越えたり、新しい課題に対応する資質・能力の育成を図る教育）の接続と連続性を重視する。

小学校からの
キャリア教育の実践
キャリア・パスポート
の活用

生冠中学校区小中一貫教育 ～ Ⅲ 目指す子ども像の設定 ～【令和2年4月1日現在 案】
 小中一貫教育目標「ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生きる生冠の子を育てる。」

地域の目指す子ども像

- 自然、人、ものを愛し、感動できる子ども
- 人の話をよく聞いて、自分の意見をしっかり言える子ども
- 向上心に燃え、チャレンジする子ども
- 明るく、助け合い、困難を乗り越える子ども



生福小学校の目指す子ども像

- 礼儀正しく、思いやりのある子ども
- 進んで勉強し、よく考える子ども
- 体を鍛え、最後まで頑張り抜く子ども
- 郷土に誇りをもつ、国際性豊かな子ども

- 1 ふるさとを誇りに思い、他者と協働して諸活動に取り組める子ども
- 2 自分の考えを持ち、夢や希望に向かって、学び続ける子ども
- 3 周りのことを考え、思いやりのある行動ができる子ども
- 4 困難を乗り越える気力・体力をもった子ども

生冠中学校の目指す生徒像

- 言語・数量・情報スキルを活用し、深く考える生徒
- 思いやりがあり、自分の考えを持って、他者と対話する生徒
- 課題に立ち向かうたくましい生徒

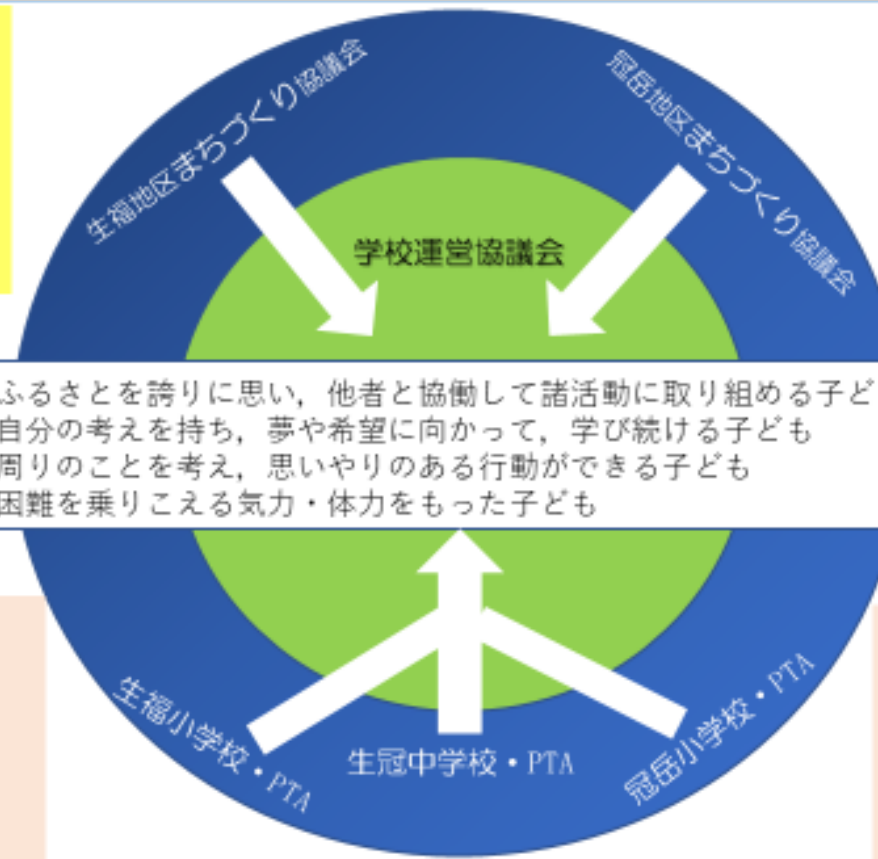
地域の目指す大人像 (原簿人、地域人、社会人として)

- 人として基本的なことがきちんとでき、子どもの模範となれるよう努力する大人
- 地域を愛し、地域の一員であることを自覚し、様々な事柄を自分事として考える大人
- お互いを認め合い、プラス思考で協働できる大人



冠岳小学校の目指す子ども像

- よく考え進んで学ぶ子
- 思いやりとけじめのある子
- たくましくねばり強い子



生冠中学校区小中一貫教育 ～ IV 令和2年度の重点, 構想図 ～
 小中一貫教育目標「「ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生きる生冠の子を育てる。」

1 令和2年度の重点

- (1) 言語活動の充実
- (2) 英語科・英語活動指導の充実
- (3) 道徳科指導の充実
- (4) キャリア教育の充実
- (5) 生活習慣の確立
- (6) 体力の向上

生冠中学校研究テーマ
 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」
 ～ 小中一貫教育と「学びの組織活性化」推進プロジェクト実践校
 の取組を通して ～

生福小学校研究テーマ
 「

冠岳小学校研究テーマ
 「自分の考えをまとめ、表現できる子どもの育成」
 ～



生冠中学校区小中一貫教育 ～ V 具体的な取組 ～

小中一貫教育目標「「ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生きる生冠の子を育てる。」

1 学習部

- (1) 家庭学習強調週間の設定
- (2) 学習の手引きの改善
- (3) 言語活動の充実に向けた取組
- (4) 英語科・英語活動の指導方法改善

2 生活部

- (1) 「あいさつ4ヶ条」の共通実践
- (2) 系統的な生活指導の実践
- (3) 児童・生徒が交流を深める場の設定
- (4) 道徳科の指導方法改善（小・中TT）
- (5) キャリア教育の充実に向けた取組
(キャリア・パスポートの活用)

3 保体部

- (1) 一校一運動の推進
- (2) 三点固定の生活習慣の確立
- (3) メディアストップ9の実現
- (4) 治療率の向上に向けた取組

【学力・学習意欲アップ】

いちき串木野市3アップ作戦

【人権感覚・思いやりアップ】

【健康・体力アップ】

4 小中ギャップを解消するための取組【つながる・まじわる・高め合う】

- (1) 乗り入れ授業
- (2) 中学校給食体験
- (3) 部活動見学・体験
- (4) 生徒会立会演説会見学
- (5) 児童会・生徒会交流
- (6) 学校行事等の合同実施
ア 芸術鑑賞 イ 原子力防災引渡訓練 ウ 運動会・体育大会への相互参加 エ 学習発表会・文化祭の相互参観 オ 高齢者とのふれあい活動

5 中学校教諭による乗り入れ授業 実施方法

(1) 目的

- ア 中学校入学前に児童と各教科担任との出会い
- イ 中学校の指導方法や学習量・展開スピードの体験
- ウ 中学校の教室や各施設の理解
- エ 両小学校の児童の仲間づくり

(2) 実施について

- ア 年間スケジュールについては、年度末に行われる担当者会での協議を経て、年度当初に事務局（中学校）が作成
- イ 5教科（国語、社会、数学、理科、英語）については、主に小学校6年生を対象に、各教科年2～3回程度実施
- ウ 英語については、小学校3～5年生を対象に、年1～2回程度実施
- エ 保体、音楽については、年1回実施
- オ 実施場所は、生福小学校、生冠中学校を基本
- カ 冠岳小学校が参加する場合は、移動の時間等を考慮し、原則として5校時に実施
- キ 中学校教諭と乗り入れ授業を行う小学校の学級担任・専科教員は、年間スケジュールをもとに実施日時を確認し、単元や授業内容、授業におけるT1・T2の動き等も含め、事前に打ち合わせを実施